

## 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-14  
補助事業名 平成24年度建設機械分野ISO国際委員会等運営及び国際標準化補助事業  
補助事業者名 一般社団法人 日本建設機械施工協会  
(旧 日本建設機械化協会)

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

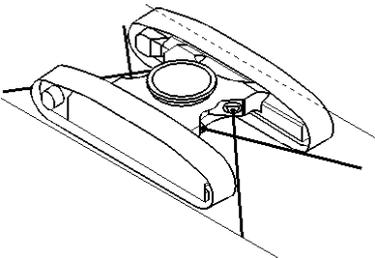
建設機械の安全・環境対策などの国際標準化に積極参画、これを通じて、日本の建設機械関連産業の更なる国際的発展及び関連雇用維持への寄与を図る。

#### (2) 実施内容

①及び②をまとめて右記URLに示す <http://www.jcmanet.or.jp/iso/pdf/3.4.pdf>  
(国内対応委員会及び国際会議報告は <http://www.jcmanet.or.jp/iso/index.html>  
のISO国内対応委員会議事要旨の(10)～(15)及びISO国際会議紹介の(15)～(24)からアクセス)

#### ① 建設機械分野ISO国際委員会等運営

国際標準化機関ISOのTC 127/SC 3分科委員会を幹事国として運営、日本担当の機械の輸送時安全関係のISO 15818を検討する国際作業グループSC 3/WG 4などの主査を引き受け、各国担当案件含め建設機械の使用安全、電子及び電気安全などに関する国際標準化の進展を図るべく、審議文書を投票に付し、或いはISO中央事務局に提出し、前記国際グループ会議を招集するなどして各国意見を調整し、米国担当案件に関してはISO文書の制定発行1件、日本担当案件含む各国際標準化案件に関して一定の進捗を得た。

<p>国際 SC 3/WG 4 ミュンヘン会議</p> 	<p>ドイツチェーン製造業の代表</p> 
<p>機械のトレーラへの固縛図</p> 	<p>同写真 (コマツ提供)</p> 

## ② 国際規格原案等の審議作成

ISO/TC 127土工機械及びISO/TC 214昇降式作業台専門委員会の対応国内審議委員会を整備してISO規格審議作成に参画、特に(1)日本担当国際規格案ISO 6747（ブルドーザー用語及び仕様項目）に関しては、各国意見を考慮して案文及び所要の図を整備して改正発行に至り、ISO 7135:2009/Amd 1（油圧ショベル用語及び仕様項目）などについては各国意見を考慮して案文を改訂、(2)日本担当外ではあるが、ISO 20474（安全性）など安全関連の重要な案件に関しては我が国専門家の国際作業グループ会議への出席を促し、(3)ISO 16001（危険探知及び視覚補助装置）改正などの新業務を日本担当として提案し、(4)他の国際規格案に関して日本として投票・意見提出するなど、ISOにおける建設機械分野の国際標準化への日本意見の反映を図った。

ISO 7135 に定義追加を提案した後方超小旋回形ショベル（日立建機提供）



油圧ショベルに搭載された鳥瞰図方式機械周囲モニタ（住友建機提供）などの日本の技術に基づきISO 16001（危険探知及び視覚補助装置）改正提案



## 2 予想される事業実施効果

（①の事業による国際標準化機関ISOの国際分科委員会及び作業グループの運営及び②の事業によるISOの標準化審議参画を通じて）機械の電子・電気系の安全、使用安全など安全性向上に、また、環境対策などに寄与し、併せて、日本が先行しているハイブリッド駆動の建設機械の普及などに寄与し、また、国内法令と国際標準との不整合の回避に寄与し、これらを通じて日本の建設機械関連産業の一層の国際的発展と関連雇用の維持に寄与する。

3 本事業により作成した印刷物等

平成24年度建設機械分野ISO国際委員会等運営及び国際標準化補助事業成果報告書

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人日本建設機械施工協会（イッパンシャダンホウジンニホン  
ケンセツキカイセコウキョウカイ）

住 所： 〒105-0011（半角）

東京都港区芝公園三丁目5番8号機械振興会館内

代 表 者： 会長（代表理事） 辻 靖三（ツジ セイゾウ）

担当部署： 標準部（ヒョウジュンブ）

担当者名： 標準部長 西脇 徹郎（ニシワキ テツオ）

電話番号： 03-5776-7858

F A X： 03-3432-0289

E-mail： [nishiwak@jcmnet.or.jp](mailto:nishiwak@jcmnet.or.jp)

U R L： <http://www.jcmnet.or.jp/>